

第2次宇都宮市自転車のみち推進計画の 中間見直し骨子(案)について

◎ 趣 旨

第2次現行計画の中間見直しに向けた課題等を踏まえ、将来像や目標、基本施策などを定めた骨子（案）を作成したことから、その内容について協議するもの

○ ご意見いただきたいポイント

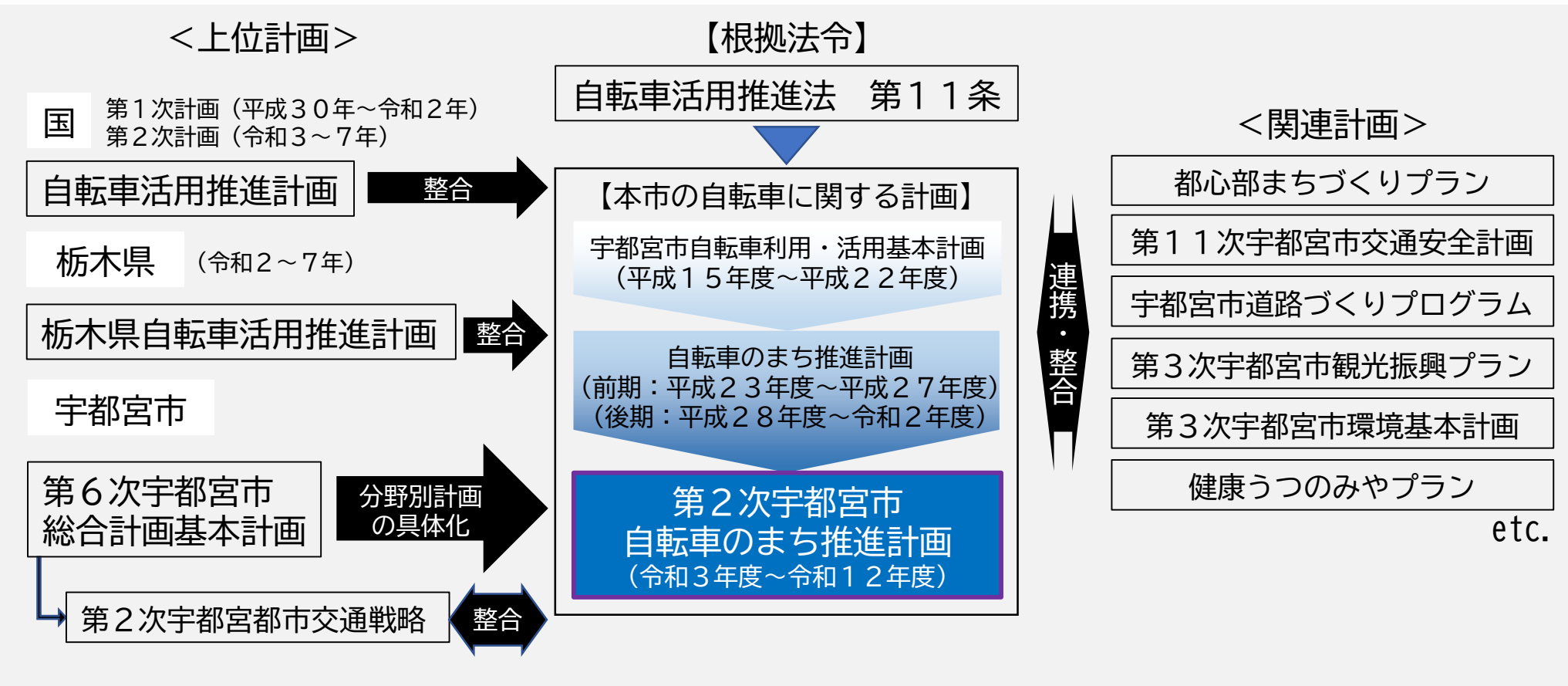
No.	内容
1	現状分析を的確にとらえた「中間見直しのポイント」となっているか。
2	中間見直しのポイントを踏まえた「将来像」「計画目標」となっているか。
3	各柱、目標に紐づく施策は十分か。
4	自転車ネットワーク計画について、中間見直しのポイントを踏まえた路線選定の考え方となっているか。



1 第2次宇都宮市自転車のまち推進計画について

(1) 計画の位置付け

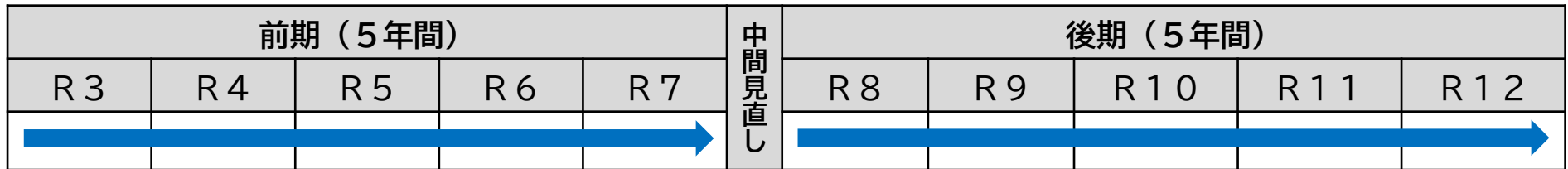
- ・「自転車活用推進法」第11条に規定する市町村計画
- ・「第6次宇都宮市総合計画 改定基本計画」の分野別計画「『交通の未来都市』の実現に向けての政策「誰もが快適に移動できる総合的な交通ネットワーク」を実現するための計画



自転車を活用したまちづくりのフロントランナー都市として、全国を牽引してきた

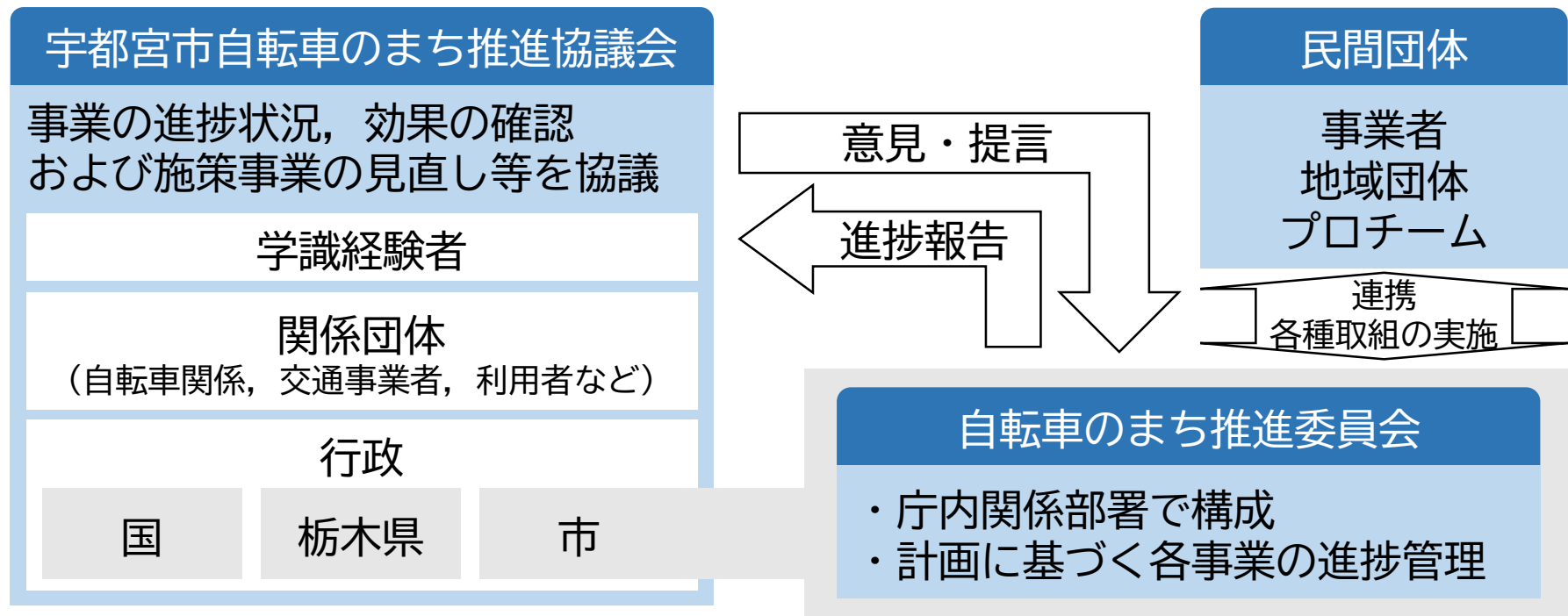
1 第2次宇都宮市自転車のまち推進計画について

(2) 計画期間



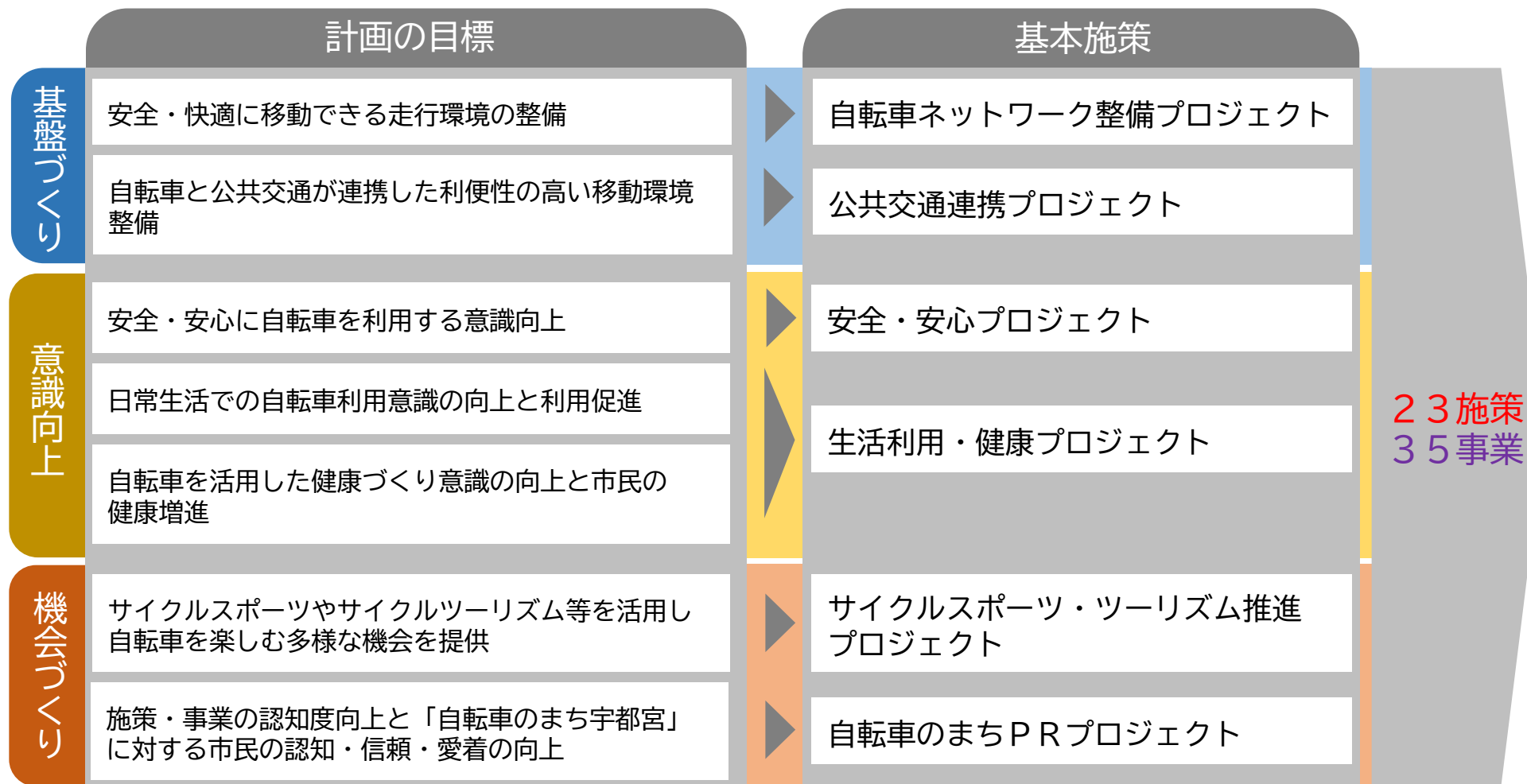
⇒ 10カ年計画である本計画の後期5年を迎えるにあたり、引き続き、自転車を活用したまちづくりのフロントランナー都市として、全国を牽引するため、現行計画における施策・事業の進捗状況及び取り巻く環境の変化などから導出される課題を踏まえ、計画目標や施策事業、評価指標などの見直しを行う。

(3) 推進体制



1 第2次宇都宮市自転車のまち推進計画について

(4) 基本的な考え方及び施策体系



➡ NCCの移動を支え、誰もが健康で便利に楽しめる「自転車のまち宇都宮」の実現

2 現状分析（詳細は別紙1 参照）

(1) 現行計画の進捗状況

◎…計画どおり
○…概ね計画どおり
△…計画以下

柱	基本施策	活動指標	成果指標	評価
基盤づくり	自転車ネットワーク整備プロジェクト	自転車走行空間の整備延長 中間目標値 80.1 km R6実績値 80.8 km 【達成状況：◎】	自転車走行空間整備の満足度 中間目標値 27.7% R6実績値 20.0% 【達成状況：△】	・サイクリングロード整備は順調（R8完了） ・整備延長は順調に伸びているが、 市民の満足度は低調 している。 ・整備延長とは別に視認性が低下した路面標示に対する対応が必要
	公共交通連携プロジェクト	交通結節点駐輪場整備箇所数 中間目標値 77箇所 R6実績値 70箇所 【達成状況：○】	市内駐輪場の利用者数 中間目標値 9,227人/日 R6実績値 8,452人/日 【達成状況：○】	特にライトライン駐輪場については、利用者が順調に伸びており、駐輪場の増設整備などの利便性向上に取り組んでいる。
意識向上	安全・安心プロジェクト	自転車安全利用教室の開催回数 中間目標値 114回/年 R6実績値 115回/年 【達成状況：◎】	自転車に関連する交通事故件数 中間目標値 270件/年 R6実績値 372件/年 【達成状況：○】	・令和6年は、前年に比較して事故件数は増加している。 ・自転車ユーザー側に非がない事故が増えた。
	生活利用・健康プロジェクト	健康ポイント事業登録者における自転車の1日あたり平均走行距離 中間目標値 3.3 km R6実績値 5.8 km 【達成状況：○】	健康のために意識して身体を動かす成人の割合 中間目標値 男63.0% 女60.0% R5実績値 男55.4% 女51.2% 【達成状況：△】	健康のために意識して身体を動かす成人の割合は、中間目標値を下回る結果となったが、 年々増加傾向にある。
機会づくり	サイクルスポーツ・ツーリズム推進プロジェクト	自転車競技・サイクルイベントの開催数 中間目標値 23回 R6実績値 22回 【達成状況：○】 広域モデルルートの設定数 中間目標値 1か所 R6実績値 2箇所 【達成状況：◎】	自転車競技・サイクルイベントによる経済波及効果 中間目標値 28.5億円 R6実績値 35.3億円 【達成状況：◎】	・おにハチ”と“ルート25”の2ルートが設定され、今後は活用に向けて周辺市町等との連携が必要 ・令和6年度においては、過去最高の経済波及効果となるなど計画以上の成果となった。
	自転車のまちPRプロジェクト	自転車に関するパブリシティ等の掲載件数 中間目標値 195件/年 R6実績値 437件/年 【達成状況：◎】	「自転車のまち」の認知度 中間目標値 13.2% R6実績値 13.0% 【達成状況：○】	自転車のまちの認知度における年度ごとの数値の推移が安定していない。

2 現状分析（詳細は別紙2参照）

(2) 自転車を取り巻く環境の変化

柱	基本施策	環境変化
基盤づくり	自転車ネットワーク整備プロジェクト	【国の次期自転車活用推進計画の策定】 ⇒ 『人中心のまちづくり』の実現や『自転車を徒歩や公共交通とならぶ重要な交通手段』とする方向性が明示 ⇒ 歩行者、自転車及び自動車が適切に分離された質の高い自転車通行空間整備の推進 ⇒ 自転車通行空間上の安全性向上 【道路交通法の改正】 ⇒ 利用者が理解しやすい路面標示の整備 【ライトライン駅西側延伸】 【都心部まちづくりプランの策定】 ⇒ ウォーカブルなまちづくりの推進 【道路づくりプログラムの策定】
	公共交通連携プロジェクト	【第2次宇都宮都市交通戦略】 ⇒ 都市機能誘導区域において「公共交通＋徒歩＋自転車」を重視する方向性を明示 ⇒ モビリティハブ等の交通結節点の充実 【公共交通NWの充実】 ⇒ ライトライン開業, バス路線再編, 地域内交通導入拡大, シェアモビ拡大
意識向上	安全・安心プロジェクト	【道路交通法の改正】 ⇒ ヘルメット着用努力義務化 ⇒ 交通反則通告制度（青切符）の適用 ⇒ 自転車の危険な運転に対する罰則強化 ⇒ 自転車ルールブックが公表され, 自転車の歩道通行に対する指導等の内容が明記 【国の次期自転車活用推進計画の策定】 ⇒ 自動車運転者に対する自転車交通ルールやマナーの教育推進
	生活利用・健康プロジェクト	【道路法改正】 ⇒ 国による道路の脱炭素化の加速 【国の次期自転車活用推進計画の策定】 ⇒ ビジョンに脱炭素社会の実現が追加 【カーボンニュートラルロードマップの策定】 ⇒ 脱炭素型ライフスタイル・ワークスタイルへの変容を促す自転車の活用促進
機会づくり	サイクルスポーツ・ツーリズム推進プロジェクト	【広域モデルルートの設定】 ⇒ おにハチ, ルート25の2ルートが位置づけ 【東部総合公園「アークタウン」開園】 ⇒ BMXフリースタイル専用パーク整備 【北西部地域体育施設の整備】 ⇒ BMXレースダート整備 【ナショナルサイクルルート認定制度】 ⇒ サイクルツーリズムの推進 【鬼怒川・小貝川かわまちづくり計画への参画】 ⇒ 鬼怒川サイクリングロード沿いの利用環境整備の充実

2 現状分析（詳細は別紙3参照）

(3) 市民向けアンケート結果

項目	調査結果	分析結果
自転車の利用促進	・代表交通手段分担率 ⇒自動車75.9% 自転車8.9% 鉄道7.8% バス3.8% 徒歩2.7% ・自転車利用に求める環境・条件 ⇒安心・安全な自転車通行空間が整備されている 61.6% 安心して利用できる駐輪場が整備されている 42.6% 自動車ドライバーによる思いやりがある 29.5% シェアサイクル等が自宅付近にある 27.2%	- 自動車依存度が高い - 安心・安全な自転車通行空間ニーズが高い - 駐輪場のニーズが高い - 自動車ドライバーの配慮に対するニーズが高い - シェアサイクルのニーズが高い
自転車の安全利用	・自転車利用時の主な走行位置（車道） ⇒ 自転車道 83.1% 自転車専用通行帯 69.9% 車道混在（矢羽根） 46.6% 未整備 20.7% ・自動車ドライバーが自転車と接触に不安を感じる ⇒ 自転車道 31.5% 自転車専用通行帯 47.1% 車道混在（矢羽根） 63.3% ・自転車交通ルールの遵守状況（守られていない） ⇒ ヘルメット着用 55.2% 原則車道通行 44.1% ・逆走してしまう理由 ⇒ 目的地が右側 46.5% 歩道や車道が狭い 36.5% 所以外物や舗装の劣化 28.5%	- 自転車通行空間整備で車道通行の割合が増加 - 自転車通行空間整備の質の高さと車道通行の割合は比例 - 質の高い自転車通行空間整備の方が自動車ドライバー側の不安軽減が図れる - 守られていない・知られていない交通ルールがある - 道路整備状況が原因で逆走させるケースがある
「自転車のまち」推進	・自転車のまちに対する評価（そう思わないの割合） ⇒ 宇都宮市は自転車のまちだと思う 50.1% 自転車通行空間が十分に整備されている 49.6% PRが十分に行われている 47.0% 自転車通勤は十分に促進されている 44.1% サイクルイベントは充実している 34.7% ・自転車通行空間への満足度 ⇒ R1 19.3% R7 20.0% 中間目標値（R7）36.0%	「自転車のまち」と認識されていない ⇒ 認識を高めるには、 ①PRの充実 ②自転車通行空間整備の拡充 ③自転車通勤の促進 が効果的 - 自転車通行空間整備の拡充に対するニーズはいまだ高い

3 課題整理と中間見直しの方向性

現行計画における施策・事業の進捗状況ならびに自転車を取り巻く環境の変化, 市民アンケート調査の結果を踏まえた課題を柱ごとに整理し, 中間見直しのポイント及びテーマを設定

		進捗状況	環境変化	アンケート結果	中間見直しのポイント	中間見直しのテーマ
基盤づくり			国の方針として、『人中心のまちづくり』の実現や『自転車を徒歩や公共交通とならぶ重要な交通手段』とする方向性が明示 都心部におけるウォーカブルなまちづくりと連動した自転車利用環境の整備が必要 ライトライン駅西側延伸に合わせたNW整備の検討が必要		まちづくりの進展に対応した自転車利用環境の整備	まちづくりを支える自転車利用環境整備 つなげる
		整備延長の拡大だけでなく, 質の高い通行空間整備が必要	道路づくりプログラムなどの道路施策と連携した自転車NWの強化が必要 質の高い自転車通行空間整備が必要	自転車通行空間整備の拡充に対する市民ニーズが高い 質の高い自転車通行空間の整備が効果的	自転車通行空間の更なる拡充と質の向上	
		視認性が低下（舗装の劣化）している路面標示への対応	改正道路交通法を踏まえ, 自転車利用者が正しく走行できる通行空間整備が必要	良好な通行空間の確保が必要（舗装劣化, 障害物）	良好な自転車通行空間の持続的な確保	
		既存駐輪場の利便性向上が必要	市の方針として, 都市機能誘導区域において「公共交通＋徒歩＋自転車」を重視する方向性を明示 公共交通NWの充実やモビリティハブ等の交通結節施設の強化に伴い公共交通との乗り継ぎ促進が必要	自転車や公共交通＋自転車への交通手段の転換促進が必要 駐輪場の整備拡大の市民ニーズが高い シェアリングモビリティの市民ニーズが高い	公共交通との更なる乗継強化に向けた自転車利用環境の整備	

3 課題整理と中間見直しの方向性

	進捗状況	環境変化	アンケート結果	中間見直しのポイント	中間見直しのテーマ
意識向上	自転車利用者以外への交通ルールやマナーの周知が必要	青切符の自転車への適用を踏まえた交通ルール遵守強化が必要 多様なモビリティの普及を踏まえた交通ルール等の周知啓発が必要 ウォーカブルなまちづくりの推進に向けた歩行者の安全確保	自転車交通ルール・マナーの周知が必要（自転車ユーザー・自動車ドライバー） ヘルメット着用率向上を図るが必要	歩行者・自転車・自動車 それぞれに対する交通ルールやマナーの周知・啓発	自転車利用意識の更なる向上 みらいへ
		国による道路の脱炭素化の加速（道路法改正） 次期自活計画において目標に脱炭素社会の実現が追加 自転車通勤の促進など日常的な利用の促進が必要	自転車や公共交通＋自転車への交通手段の転換促進が必要 自転車通勤の促進が必要	自転車を活用した 脱炭素型ライフスタイル・ワークスタイルの推進	
機会づくり	ジャパンカップ以外のサイクルイベントの充実が必要 田川サイクリングロードの整備がR8に完了するため、今後は活用推進策の検討が必要	鬼怒川かわまちづくりにより整備されるリバースポットの環境整備と有効活用が必要 周辺市町と連携した広域モデルルートを活用が必要 地域資源（アークタウン宇都宮や北西部地域体育施設など）を活用した魅力向上が必要	サイクルイベントの充実が必要 PRの強化が必要 「自転車のまち宇都宮」としてのシビックプライドの醸成が必要	地域資源と自転車の連携・活用による 更なる誘客促進 「自転車のまち宇都宮」のPR強化	自転車と地域資源の連携による魅力向上 自転車の輪
	ブランド力向上に向けた情報発信の強化が必要				

4 推進計画の骨子案（将来像）

現行計画

NCCにおける市民や来街者の移動を支え、
誰もが健康で便利に楽しめる
「自転車のまち宇都宮」の実現

⇒「基盤づくり」「意識向上」「機会づくり」で掲げた各施策・事業を効果的・一体的に進めることで、通勤・通学・買い物など日常生活で自転車を活用する『自転車で「働く・学ぶ」「住まう」まち』の実現、サイクリングなどの余暇活動や健康づくりで自転車を活用する『自転車で「憩う・楽しむ」まち』の実現を目指す



NCCの移動を支え、
誰もが健康で便利に楽しめる「自転車のまち宇都宮」の実現

自転車で
「働く・学ぶ」「住まう」まち

通勤
通学
買い物

自転車で
「憩う・楽しむ」まち

サイクリング
健康づくり
イベント

中間見直しのテーマ

つなげる

みらいへ

自転車の輪

中間見直し後

～自転車で人と公共交通とまちをつなげる～

NCCの更なる推進とみらいへ向けた

自転車の輪を広げ、

誰もが健康で便利に楽しめる

「自転車のまち宇都宮」を実現

⇒NCCの更なる推進に向けて、ウォークアブルなまちづくりの推進や公共交通ネットワークの充実など、まちと暮らしが大きく変わる転換期を迎える中、まちづくりの進展と連携した自転車施策・事業の充実を図り、歩く・乗る・集うが調和した誰もが健康で便利に楽しめる「自転車のまち宇都宮」を実現する。



4

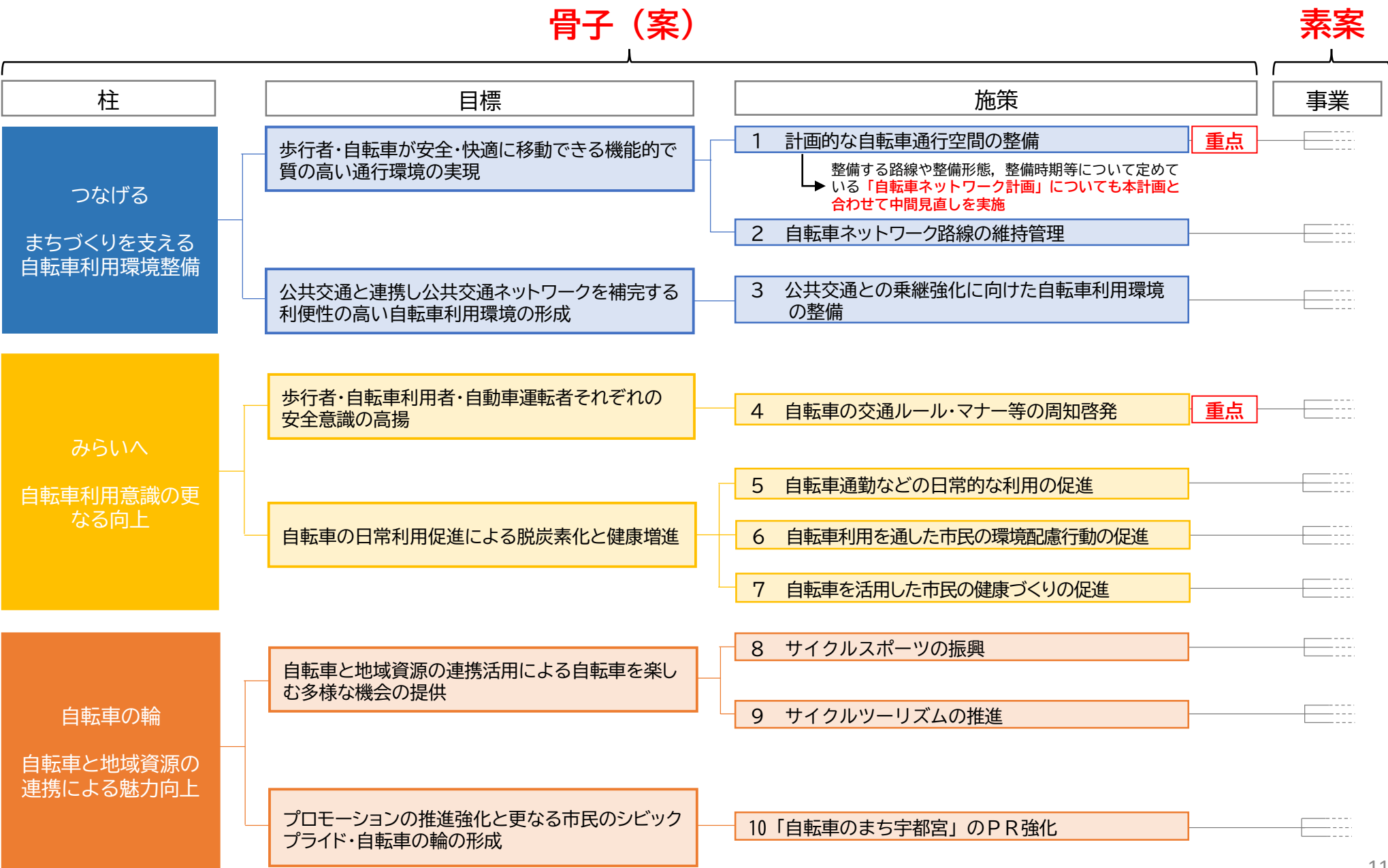


テーマを新たな柱に設定

ポイントを踏まえた新たな目標を設定(基本施策は削除)

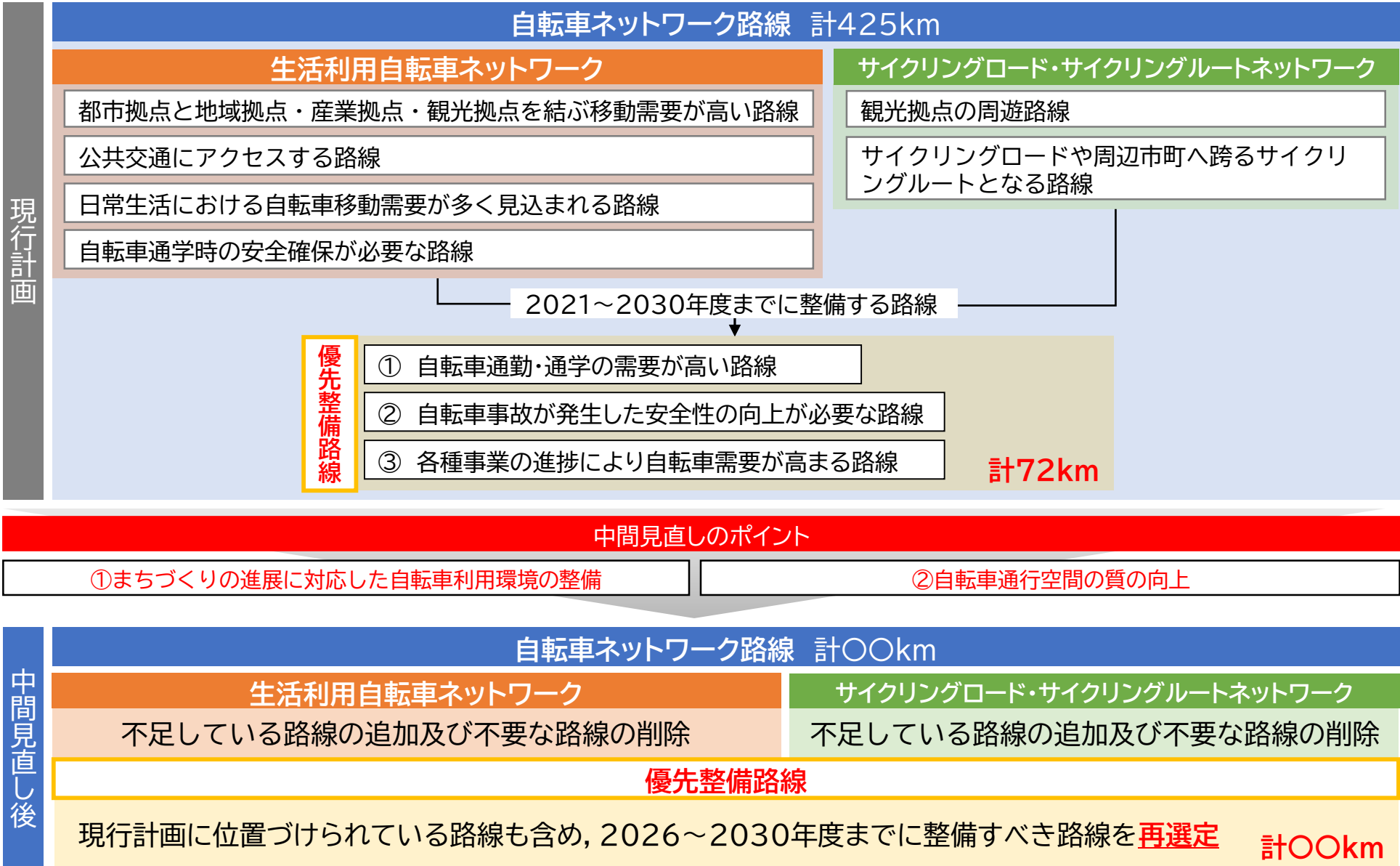


4 推進計画の骨子案（計画構成）



5 自転車ネットワーク計画について

(1) 現行計画と中間見直しの方向性について



5 自転車ネットワーク計画について

(2) 優先的に位置付ける路線の考え方

① ガイドラインに即した自転車通行空間の整備

【安全で快適自転車利用環境創出ガイドライン】

⇒ 国土交通省が作成している自転車利用環境整備事業に関する手引き

<ガイドラインの方針>

課題

限られた道路空間の中で、
自転車道や自転車専用通行帯の整備は不十分



自転車道



自転車専用通行帯



車道混在
(矢羽根型路面表示)

対応

限られた道路空間の中で、現地状況に応じた柔軟な再配分等の事例を示し、**自転車道や自転車専用通行帯の整備を推奨**



質の高い自転車通行空間の整備を促進

<本市の現状>



自転車NW計画に基づき自転車通行空間整備を拡大

<対応>

道路空間を効果的に再配分し、**自転車専用の空間を創出し、質の高い自転車通行空間を整備**
⇒ 合わせて歩道のバリアフリー化なども実施し、道路空間全体の質の向上を図る。

未整備路線



【整備事例】

・道路幅員の再配分

- ・歩道のバリアフリー化 (マウントアップ→セミフラット)
- ・電柱移設
- ・L型側溝→管渠型側溝



矢羽根表示だと狭く感じる

交通量が多くて矢羽根表示だと怖い



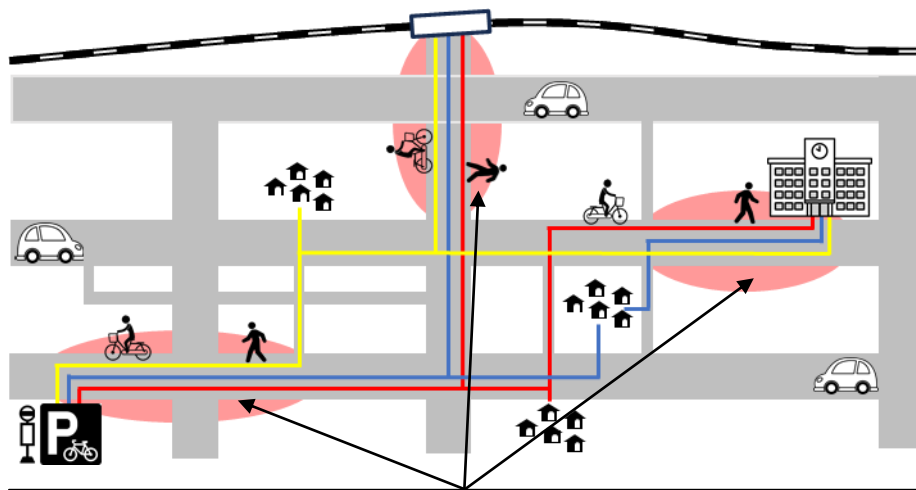
質の高い自転車通行空間へのニーズが高まっている。

5 自転車ネットワーク計画について

(2) 優先的に位置付ける路線の考え方

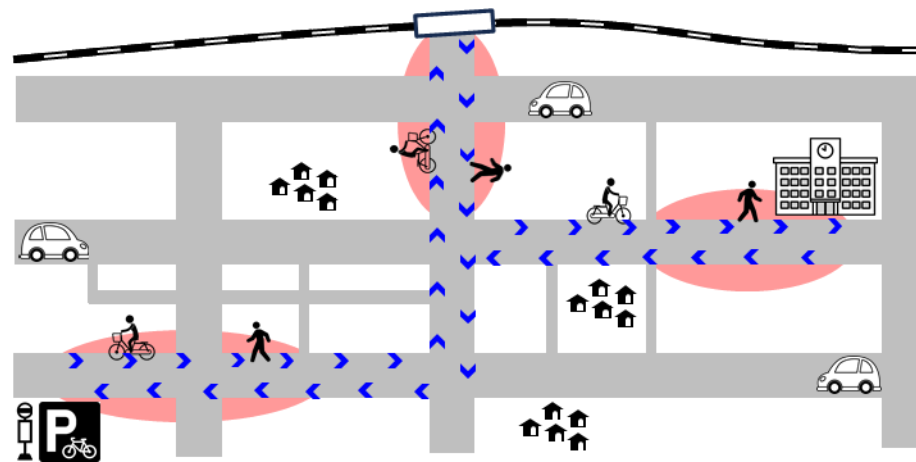
② 人が集約する施設へのラストワンマイルの再選定 (特に学校付近, 交通結節施設)

鉄道駅や小・中学校, サイクル&バスライド駐輪場に達するために多くの利用者が通行する主要な路線について, 現行計画に位置づけられている路線も含め, 最適な路線を再選定し, 自転車ネットワークの充実を図る。



学校や交通結節施設などの目的施設に達するために, 多数の利用者が通行する道路

自転車通行空間を整備



歩行者, 自転車利用者, 自動車など様々な利用者が混在する路線において, 自転車通行位置を明示



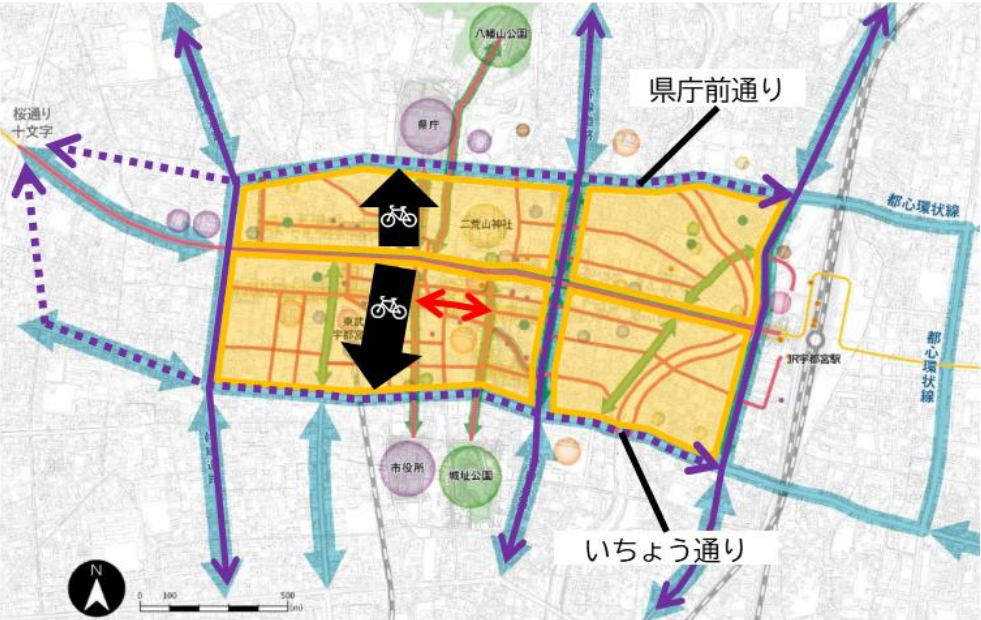
- ・ **通勤, 通学をはじめとした利用者の安全確保**
- ・ **既整備路線との接続による連続性 (自転車ネットワーク効果) の向上**

5 自転車ネットワーク計画について

(2) 優先的に位置付ける路線の考え方

③ 中心市街地における街路空間の使い方の検討

【街路空間の使い方イメージ】 都心部まちづくりプランの中心市街地における“街路空間の使い方”を参考に3パターンを設定



本計画においては、
「**通過**」：多くの自転車利用者が通行する主要な**路線**
「**回遊**」：歩行者と自転車を分けるべき**エリア**
「**抑制**」：歩行者の利用を主とする**路線**
を**基本方針**とする。

第3次計画に向けて、それぞれの道路空間の使い方や整備形態・手法等の考え方については**検討課題**とする。

⇒ ただし、必要な路線については、検討が整った段階で整備するなど、まちづくりの進展に合わせて順次対応していく。

表:街路空間の使い方と、通過・回遊・抑制の考え方(案)

パターン	道路空間の使い方		整備形態・整備方法等	街路空間の使い方との対応
通過 	：自転車の通過交通に用いる路線			・ 広域的な移動で使う街路 ・ 拠点間の移動で大通りへのアクセスで使う街路
	歩行者、自転車、自動車をそれぞれ分離		自転車道、自転車専用通行帯 等	
	※  は、ライトライン西側延伸後の振り替え路線としての機能をイメージ			
回遊 	：自転車での回遊に用いる路線			・ 人の回遊・滞在で使う街路
	・ 自転車と自動車の混在（歩行者とは分離） ・ 歩行者と自転車の混在、自転車の速度の抑制		・ 矢羽根（車道混在） ・ ピクトグラム	
抑制 	：自転車での通行を抑制させる路線			—
	自転車は押し歩き		自転車通行位置の明示 等	

6 今後のスケジュールについて

R 7年 4月

5月

6月

7月

8月

9月

10月

11月

12月

R 8年 1月

2月

3月

- ・各施策・事業の進捗状況, 評価指標の状況の確認
- ・本市の自転車に関わる現状把握, 課題整理
⇒ **中間見直しの方向性の検討**

- ・意向調査と先進事例調査
- ・庁内関係課ワーキング
⇒ **中間見直し骨子(案)の作成**

- ・各施策事業の検討
- ・評価指標の検討
⇒ **中間見直し(素案)の作成**

パブリックコメント

とりまとめ

宇都宮市自転車のまち 推進協議会

第1回 協議会(R7.7.2)

- ・各施策の進捗状況, 評価指標の状況の確認等
- ・中間見直しの方向性

第2回 協議会(R7.11.26)

- ・骨子(案)について
(将来像, 目標, 施策体系, NW計画中間見直しの方向性)

第3回 協議会(R8.1)

- ・素案について
(ロードマップ, 重点事業, 施策事業, NW計画)

第4回 協議会(R8.3)

- ・中間見直し内容の確認